

2018年10月18日

各位

株式会社スプリックス

---

**経済産業省『「未来の教室」実証事業』にスプリックスが採択**

---

株式会社スプリックス（本部：東京都豊島区／代表取締役社長：平石明）はこのたび、経済産業省『「未来の教室」実証事業』の事業者として採択されましたことをお知らせいたします。スプリックスは本事業において、「自立学習 RED」の公教育導入を実証いたします。

**1. 『「未来の教室」実証事業』について**

「第4次産業革命」「人生100年時代」「グローバル化」が進む中、世界は能力開発競争の時代を迎え、各国で「学びの革命」が進んでいます。こうした中、経済産業省は、EdTech・個別最適化・文理融合（STEAM）・社会課題解決をキーワードに、効率的な知識習得と創造的な課題発見・解決能力育成を両立する新たな学習プログラムの開発・実証を進めています。実証事業を通じて、成功例、または成功例に繋がる足掛かりを創出すると共に、開発／運営にあたっての課題を抽出し、解決の方向性を見出すことで将来的にそれらを全国普及／継続実施していくための道筋もつけることを目的としています。

ご参考：経済産業省リリース

<http://www.meti.go.jp/press/2018/06/20180625003/20180625003.html>**2. スプリックスの取り組みについて****（1）自立学習 RED について**

スプリックスが運営する学習塾「自立学習 RED」は、教育 IT を活用して生徒ひとりひとりの学力に合わせた学習プログラムを提供しています。この基幹エンジンは、主に中学校の定期テストの点数獲得を目的として教科書に準拠したかたちで自社開発した「e フォレスト」と呼ばれるもので、AI を活用した個別最適化学習プログラムとなっております。

ご参考：自立学習 RED ホームページ

<http://www.jiritsu-red.jp/>**（2）実証事業について**

スプリックスは本事業において、「自立学習 RED」の公教育への導入を実証いたします。この目的は、「未来の教室」における「探求プロジェクト（STEAM）」に取り組む土台となる「教科学習」の体系を、「e フォレスト」の活用により総合的に構築することにあります。「自立学習 RED」の「e フォレスト」を公教育向けに再定義した上で、学校現場の実態に合わせたカリキュラムおよびオペレーションのあるべき姿を創造し、提供に際した課題抽出、示唆吸収を行ないます。

実証にあたっては、実現性の高いフィードバックを得るべく、学校の先生にも協力を得、ワークショップ等を通じて公教育における「eフォレスト」活用体系の開発を目指します。

民間教育の先進的な技法を活用することで、公教育における教科学習を効率的に習得、探求プロジェクトへの時間を創出することを標榜し、さらには将来的な公教育と民間教育の連携を視野に実証事業を進めて参ります。

**本件に関する問い合わせ先**

株式会社スプリックス

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-11-1 メトロポリタンプラザビル 12F

TEL : 03-5927-1681      eMail : info@sprix.jp